

電子メールの利用法

～Eudora と popper の設定～

神戸大学工学部情報知能工学科
平松 治彦

1 電子メール

ネットワーク上におけるコミュニケーションの手段として最も利用されているものが電子メールです。電子メールとはコンピュータ上のユーザ間のメッセージの伝達方法の1つで、コンピュータ及びネットワークを介してやりとりする文書のことをいいます。

電子メールの最大のメリットは、受け取った原稿やプログラムに手直しを加えるなどといった事をすべてコンピュータ上でできる事です。さらに、同一の計算機を利用している利用者間だけではなく、ネットワークに接続されている計算機の利用者ともメッセージを交換できます。

1.1 電子メールの利用

電子メールを使うには、アドレスを知っておく必要があります。アドレスとは、ネットワーク上で送り先を識別するためのものです。電子メールのアドレスは、Figure .1 に示すような構成をしています。

1.2 電子メールのルール

電子メールの利用においては、一般的に以下のようなルールがあります。

- メール1通のサイズは、約50Kバイト以下にする。
- テキストデータ(文字のみのデータ)ではないデータを直接送ってはならない。絵等を含むデータを送りたい時は、然るべき変換を施す。
- 本文以外に日本語を使わない。また日本語コードは、JISコードのみを利用する。

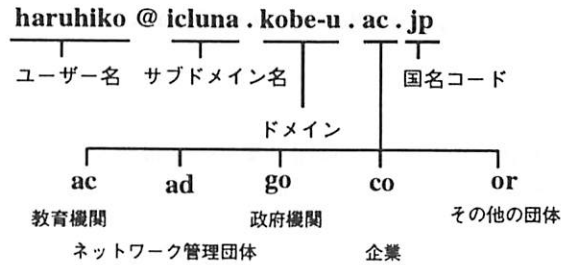


Figure 1: 電子メールアドレスの構成

実際の手紙と同じ様に事故などの理由でメールが消失したり、うまく相手まで届かない場合があります。従って、重要なメールなどはコピーを取る、確認のメールをもらう等する様にして下さい。

2 Eudora の設定

Mac にはメールを送受信する機能がありません。もちろん、Nifty Serve のような BBS 等を利用すればインターネットとの電子メールの交換を実現する事は可能です。しかし、このようなことをしなくても Mac で UNIX ワークステーション上に格納されたメールを使える様にする事で、簡単にインターネット上の電子メールを利用する事ができます。これを可能にしてくれるのが、UNIX 上で動く popper と呼ばれるプログラムと Mac でメールを読み書きできる Eudora というアプリケーションです。

また、当然の事ですが Eudora、つまり電子メールを使うにはメールの届くワークステーションに自分のアカウントが必要です。アカウントについては、ワークステーションの管理者に相談して下さい。

2.1 Eudora の入手

日本語化された Eudora は anonymous FTP を介して入手できます。最新バージョンの Eudora-J1383.sit.hqx は次の FTP サイトから入手できます。

```
ftp://ftp.kobe-u.ac.jp/pub/Mac/network/email/Eudora-J1383.sit.hqx
```

ただし、これらは最新バージョンとは限りません。最新バージョンを入手したい場合は、国内のサイトをサーベイして下さい。

入手したソースはコンパイルの必要はありませんが、binhex形式という特殊な形式になっているため変換処理を行わなければなりません。変換処理はCompactPro, Stuffit等のプログラムを利用して行います。

これらのプログラムは、ftp://ftp.center.osaka-u.ac.jp/info-mac等のinfo-macアーカイブから入手する事ができます。但し、著作権の問題があるので注意して下さい。なお、Eudoraは無償で提供されています。anonymous FTPの方法は、後半に例を挙げて示してあるのでそちらを参考して下さい。

2.2 Eudoraの起動メニュー

Eudoraを起動するとFigure. 2のようにタイトルバーが変化します。タイトルバーのメニューにはTable. 1に示すような機能があります。




Figure 2: Eudoraの起動

Table 1: メニューの主な機能

メニュー	機能
ファイル	Eudoraの起動、印刷、終了 etc.
編集	文章の編集(カット&ペースト)
書筒箱	届いたメール、出したメールの一覧、リスト
メッセージ	新しいメールを書く、返事、転送 etc.
移動	メールの整理、削除
操作	設定変更、パスワードの変更 etc.
窓	開いているウィンドウの一覧

2.3 Eudora の初期設定

Eudora を使うには、Mac における初期設定が必要です。また、ワークステーションとの通信には MacTCP というネットワークインターフェース、及びその設定が必要です。MacTCP に関しては、NCSA telnet, Mosaic 等が使えるようになっていれば改めて設定する必要はありません。ここでは、MacTCP が既に設定されているものとして説明をしていきます。

Eudora の初期設定はタイトルバーのメニューから操作を選び、この中の設定変更、スイッチというメニューを使って行います。

1. 設定変更

設定変更では、メールの受信設定、ワークステーションのアドレスなどを設定します。設定例を Figure .3 に示します。

Figure 3: 設定変更ウィンドウ

(a) POP アカウント

<username>@<pophost>の様に記述します。この部分は From アドレスではありません。@の右側(<pophost>)は POP サーバーの動いているワークステーションのホスト名、左側がユーザー名です。

DNS を利用していない場合は、<pophost>のところには IP アドレスを書

きます。Figure .3では、in4wolf(133.30.72.105)にある www というユーザーについての記述になっています。

(b) 本当の氏名

ユーザーのフルネームを書きます。Figure .3では www となっていますが、例えば Haruhiko Hiramatsu のように書きます。

(c) 接続機構

MacTCP を選びます。

(d) SMTP サーバー

メールを送信する時に、SMTP で送るリレーホストです。POP のサーバーと同じである必要はありません。また、Figure .3では IP アドレスを書いているのですが、ホスト名でも構いません。

(e) あなたの電子アドレス

メールの From アドレスになります。また、Reply-To フィールドにも表われますので、間違えないようにして下さい。

(f) 新着チェック頻度

設定と、Eudora の起動中はここに表示した間隔でメールサーバーへのメールの着信をチェックし、新しいメールがきた時に知らせてくれます。通常 2 分程度を設定します。

(g) Ph サーバー

何も書きません。

(h) 電話接続の利用者名

何も書きません。

(i) ウィンドウ幅、行数

好みの大きさに調節して下さい。

(j) 表示フォント、印刷フォント

好みのフォントに変更して下さい。

2. スイッチ

スイッチは、Eudora における個人環境を設定します。好みに合わせて設定して下さい。

設定例を Figure .4に示します。

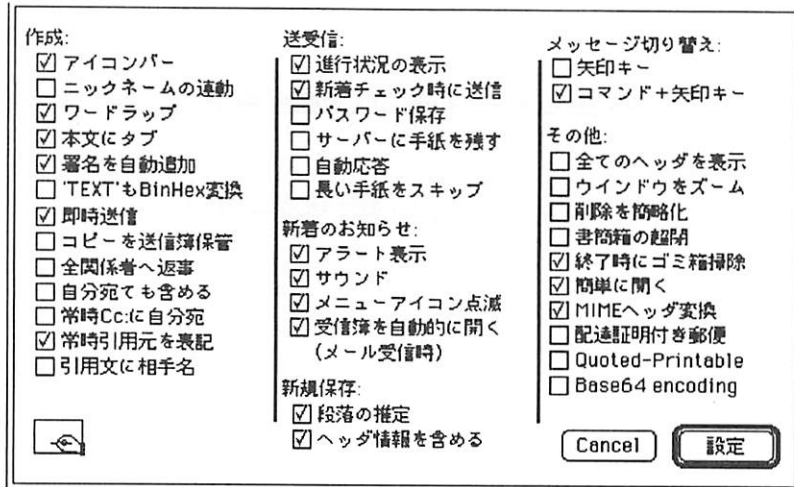


Figure 4: スイッチ ウィンドウ

2.4 Eudora の基本操作

2.4.1 メールのチェック

タイトルバーのメニューからファイルメニューを選択すると私書箱をチェックというサブメニューがあるので、これを選択します。ここには、最後にチェックした時刻が入っています。私書箱と言うのは、POP サーバーのメールスプールのことです。スイッチでパスワード保存を選択していなければ、Eudora を起動して最初に私書箱のチェックを選択した時にパスワードの入力を求められます。パスワードは、POP サーバーの自分のアカウントに付けたものと同じものを入力します。入力したパスワードが間違っていると、「サーバーに接続できません」といった内容のメッセージが表示されますので再度入力して下さい。(Figure .5) また、スイッチに新着チェックを設定しておくで、Figure .6の様に新しいメールが来た事を知らせてくれます。

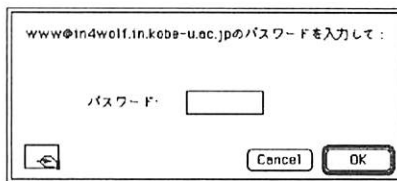


Figure 5: パスワードの入力



Figure 6: 新着メールのお知らせ

受信したメールは、「受信簿」ウィンドウにその一覧が表示されます。(Figure .7)

受信簿			
R	World Wide Web	23:02 94.12.24 +0900	1 test
R	Haruhiko Hiramatsu	1:30 94.12.25 +0900	2 test mail
R	Haruhiko Hiramatsu	2:26 94.12.25 +0900	1 Re: test ma
.	www	11:35 95.1.6 +0900	1

5/3K/1K

Figure 7: 受信簿

2.4.2 メールを読む

Eudora に届いたメールは、受信簿に保存されます。受信簿を表示すると、新着メールは反転しています。ここにマウスマウスカーソルを合わせ、ダブルクリックすると内容が表示されます。(Figure .8) 受信簿の一覧には、送信者の名前、日付、時間等が示されています。また、一番左にある記号は以下の内容を表しています。(Figure .7)

・ : 未読 R : 返信済み S : 送信済み

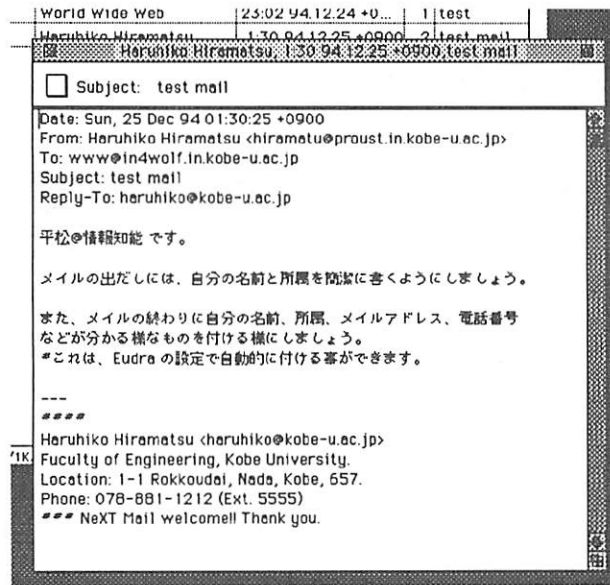


Figure 8: メールの受信

2.4.3 メールを書く

1. 送信

メニューバーのメッセージから新規メッセージを選びます。すると、Figure .9 のようなウィンドウが開きます。上半分がヘッダーと呼ばれる部分で、それ以下、つまり Attachments と書かれている下の線以下が本文となります。ヘッダーに書く内容は以下の通りです。また、これらのフィールドの移動は TAB キーにより行えます。

- To:** メールの宛て先を書きます。宛て先はカンマ (,) で区切って複数書くことができます。
- From:** 自分自身、つまり発信者のメールアドレスを書きます。
- Subject:** サブジェクト、メールの内容が分かるような記述をします。漢字、平仮名などの日本語は使用できません。
- Cc:** メールの複写を送る相手のアドレスを書きます。
- Bcc:** メールの複写を送る相手のアドレスを書きます。Cc:と異なる点は、To,Cc で指定されたメールの受信者には Bcc が誰に送られたかという情報は送られません。
- Attachments:** Mac のファイルをメールに添付するときに使います。

本文は、通常のワープロ、エディタと同じような感覚で書くことができます。また、編集メニューにあるようにコピー、ペーストなども使う事ができます。ヘッダー、本文ともに書き終えたら送信ボタンをクリックして送信します。

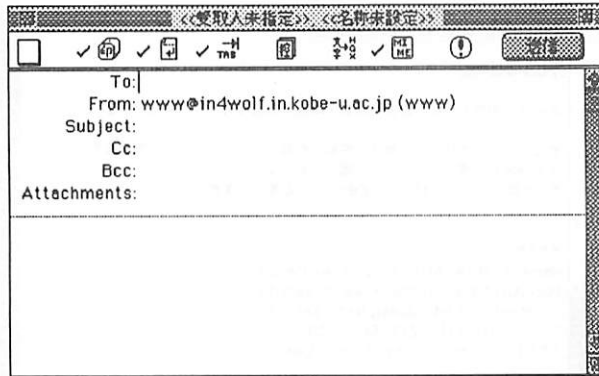


Figure 9: 新規メッセージ

2. 返信

返信を書きたいメールを選択し、メッセージメニューから返信を選択します。この時、自動的に返信相手、サブジェクトがつきます。又、元のメールの引用という事が分かる様に文の先頭に>がつきます。すべて書き終えたら送信ボタンをクリックして送信します。

2.4.4 メールの整理

届いたメールは受信簿にたまっていきます。この中には全く不要なメールや、重要で残して置きたいメールなどが混在する事になります。Eudoraでは、メールの整理が簡単にできる機能があり、これを利用する事でメールの分類を簡単にできます。使用する機能はメッセージメニュー中の削除と移動メニューです。

削除 受信簿などのメールの一覧中から不要なものをハイライトし、削除を選ぶ事で削除されます。

移動 移動メニュー中から移動先の書簡箱を選択します。書簡箱は独自に作成する事ができるので、例えば送信者別、研究室、学校等の何らかの単位で作る様にするをおすすめします。ゴミ箱に移動は、削除メニューと違いEudoraを終了するまでゴミ箱に残っているので、いつでも取りだす事ができます。

2.5 便利な機能

Eudora には色々と便利な機能があります。

1. 署名

操作メニューから署名編集を選択します。New と標準署名から標準署名を選択します。内容、書式ともに自由ですが、自分の所属・メールアドレス・氏名などは書くようにして下さい。Figure .10に例を示します。設定した署名 (signature) は送信の際に自動的に記入されます。

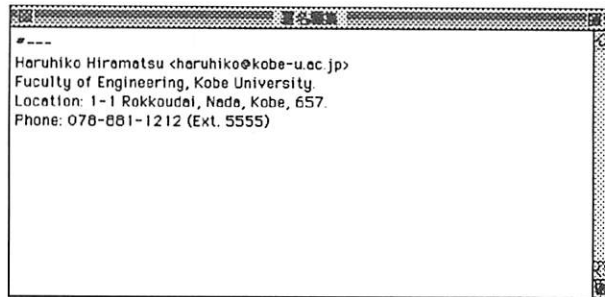


Figure 10: 署名編集

2. ニックネーム編集

操作メニューからニックネーム編集を選択します。Figure .11 に例を示します。ニックネームを登録する事で、メールを送信する際にアドレスを打つ必要が無く、ニックネームを選択するだけで自動的にアドレスを記入してくれます。さらに、複数のアドレスをまとめて一つのニックネームとして登録する事もできます。

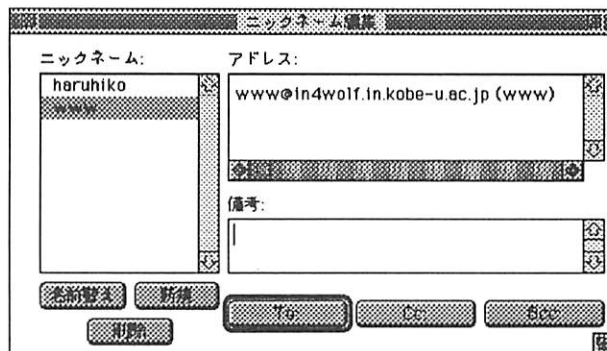


Figure 11: ニックネーム編集

3 popper のインストール

Eudora を利用するにはメールの届くワークステーションで popper というプログラムを動作させる必要があります。popper の利用にあたっては、システム管理者の方に相談して下さい。

3.1 popper とは

popper は、UNIX ワークステーションに届いたメールを Eudora が取りだせる様にするためのメールサーバソフトです。

POP とは、Post Office Protocol Version 3 (RFC 1460) でサーバ上のメールプールをリモートホストからアクセスするためのプロトコルのことです。この POP のサーバ・プログラムの一つが UCB pop (popper-1.831) です。

popper は UNIX WorkStation の管理者 (スーパーユーザー) に設定してもらう必要があります。

3.2 popper の入手

popper は anonymous FTP を介して以下の FTP サイトから入手することができます。

```
ftp://ftp.kobe-u.ac.jp/pub/Mac/network/email/popper-1.831beta.tar.Z
```

anonymous FTP は以下の手順で popper のソースファイルを入手することができます。

```
%
% ftp ftp.kobe-u.ac.jp
Connected to opensun.kobe-u.ac.jp.
220 opensun FTP server (Version wu-2.4(1) Sat Jul 30 01:29:31
JST 1994) ready.
Name (ftp.kobe-u.ac.jp:hiramatu): ftp
331 Guest login ok, send your complete e-mail address as password.
Password:自分のメールアドレスをかく。
230-
230- Welcome to KOBE University anonymous ftp server opensun.
230- Any comment or questions to ftp-admin@ftp.kobe-u.ac.jp.
230-
230 Guest login ok, access restrictions apply.
ftp> cd pub/Mac/network/email
250 CWD command successful.
ftp> get popper-1.831beta.tar.Z
200 PORT command successful.
150 Opening ASCII mode data connection for popper-1.831beta.tar.Z
(58961 bytes).
226 Transfer complete.
local: popper-1.831beta.tar.Z remote: popper-1.831beta.tar.Z
59245 bytes received in 0.19 seconds (3e+02 Kbytes/s)
ftp> quit
221 Goodbye.
%
```

3.3 popper のコンパイル

popper のコンパイルは比較的簡単にできます。

ftp により入手したソースファイルは **popper-1.831beta.tar.Z** という形で tar 形式をさらに圧縮してありますから、以下の様にして展開します。

```
%  
%uncompress popper-1.831beta.tar.Z  
%tar xf popper-1.831beta.tar  
%
```

popper というディレクトリができ、この下にMakefile 等の popper のソースファイルが展開されています。README ファイルにコンパイル、インストール等の方法が示されています。コンパイルするには、それぞれの環境に合わせて Makefile を編集します。通常、何の変更も無しにコンパイルできるのですが、popper(実行ファイル)、popper のマニュアルをインストールするディレクトリを変更したい時は、Makefile 中のINSTALLDIR,MANDIR を書き換えます。特に問題が無ければ、make とするだけでコンパイルできます。そしてmake install とすれば、INSTALLDIR で示されたディレクトリにインストールされます。デフォルトでは/usr/etc にインストールされます。オンラインマニュアルはmake installman とすればMANDIR に示されたディレクトリにインストールされます。

3.4 popper の設定

各種の設定をおこなうファイルは、popper サーバーとなるワークステーションの OS によって異なりますが、ここではSunOS 4.0.x の場合について説明します。まず、/etc/services に以下の記述を書き加えます。

```
pop    110/tcp  
pop2   109/tcp
```

Sun のネットワーク構成でNIS(Network Information Service) を利用している場合は、次の処理を行います。

```
%  
%cd /var/yp  
%make  
%
```

popper の起動の記述を/etc/inetd.conf の適当な部分に以下の記述を加えます。

```
pop stream tcp nowait /usr/etc/popper popper  
pop2 stream tcp nowait /usr/etc/popper popper
```

以上の事を行った後、inetd daemon を Kill しinetd を再起動します。ワークステーションを再起動しても構いません。

3.5 popper の動作確認

popper のインストールが終了した後、動作テストを次の手順で行います。<pophost> には、popper を動作させるワークステーションの名前を入れて下さい。

```
%  
%telnet <pophost> 110  
Trying...  
Connected to <pophost>.berkeley.edu.  
Escape character is '^]'.  
+OK UCB Pop server (version 1.6) at <pophost> starting.  
quit  
Connection closed by foreign host.  
%
```

4 おわりに

簡単にはありませんが Eudora 及び popper の設定について述べました。popper さえ旨く動作すれば Eudora を利用する事で、電子メールを簡単に扱えます。Eudora

について詳しく知りたい場合は、付属のマニュアルか FAQ がありますので、一度目を通して見て下さい。FAQ は、以下の FTP サイトにあります。

```
ftp://ftp.center.osaka-u.ac.jp/eudora/Eudora-QA1.3-J.sea.hqx
```

popper に関しては README にコンパイル、インストールの方法が載っていますので、インストール作業を行う前に読む様にして下さい。誤りや問題がありましたら、haruhiko@kobe-u.ac.jp まで電子メールでお願いします。